



か がやく す まいる い いかんじ 通信

Vol.1 R1.6.11

令和元年度の家庭教育推進員事業が始まりました！

家庭教育推進員事業は、昭和54年度から脈々と続く事業です。毎年テーマを決めて、年間10回の活動を重ねていきます。令和初となる今年度も各小学校PTA会長からの推薦を受けた49名の家庭教育推進員とともに、活動がスタートしました。



初回(5月日)は、地域ごとに分かれたグループで着席です。始まる前から、和気あいあいとした雰囲気でお話ししあう様子がみられ、さすが皆さん同じ小学生のお子さんをもつ保護者同士です！

まずは、「子供が小学生であるこの時期に、同じ立場の仲間と学べるチャンスをぜひ生かしてもらいたい」、という課長の挨拶からスタート。庶務課からの家庭教育推進員事業の説明の後、今年度の年間講師である大正大学の齋藤 知明(さいとう ともあき)先生にバトンタッチ。助手として大正大学生の石崎 かのん(いしざき かのん)さんにもご参加いただきました。

はじめに齋藤先生の自己紹介。3年前から関わっている盆踊りやキタク部、大正大学でのコミュニティカフェ「どようびカフェ」などでの活動をご紹介いただきました。人生を豊かにするまちの拠点(サードプレイス)になるコミュニティカフェの魅力や「ソトノヒト(移住者・学生)」ではなく、「ウチノヒト(住民・生活者)」による持続可能なコミュニティづくりが、これからは求められるというお話がありました。

そして、皆さんも自己紹介ワーク！A4の紙を2回折り、4つの枠を創ります。左上に似顔絵と呼んでほしい名前、左下に自分を一言で言い表すと…、右上にカスイで学びたいこと、期待していること、右下に実は〇〇なんです話を書いていきます。皆さん、さらっとご自身の特徴をつかんだ似顔絵を描かれ、とてもお上手！この紙を使って、スムーズに自己紹介されていたらいいなと思います。このワークはいろいろな場面で使えるものなので、ぜひ応用してみてくださいね。



グループでの距離がぐっと近くなったところで、今年度1年間の学びの流れが説明されました。昨年からの引き続いてのテーマ「つながりで広げるマチのワ」。昨年度の事業をふまえながら、今年度はさらにパワーアップした内容「コミュニティデザイン+ファシリテーション」を進めていき、『『まちづくりの手法は子育てにも活用できる?』ことをみんなで研究していきましょう!』という力強いお話がありました。

今年度のテーマについても説明がありました。まず「アソシエーション」と「コミュニティ」の違いは、R・M・マッキーヴァーによると「アソシエーション」…何かしらの目的共有・利益追求をする集合体、「コミュニティ」…自然発生的かつ地域・慣習に根付いた共同体であり、かつ、さらにその(自然発生的な)共同体は地域という空間だけに限定されない伸縮自在であると定義されています。また、「ファシリテーション」とは、プロセスを容易にすることで、まるで自分で気づけたかのように気づいたり、まるで勉強していないかのように勉強しているように、楽しくなったり、当事者になれたり、自信になって次につながっていけるような働きかけができること、それは家庭にも使えるのでは?というお話でした。

最後のワークでは、「今の学校教育と自分たちが受けた教育を比べて戸惑ったことやすごいなと思うところ」について、話し合いました。子供が外で遊ばなくなっている、宿題が多く丸つけが大変、話し合い学習が増えている、などいろいろな視点から意見が出て、大盛り上がりで初回を終えました！

☆よりパワーアップして「まち」を考える1年間。どうぞよろしくお祈りします☆

～「かすい」の活動が教育委員会HPにも掲載されています。是非ご覧ください！

イラスト提供：ふわふわ。り

第1回 みなさんからいただいた感想です（抜粋）

★私が気づいたのは…

- ・子育て、家庭教育のためにはもっと地域に頼ったら面白いのかな。
- ・同じ年頃の子供を持つ親同士ということで、相手の話を興味深く聴く事ができた。
- ・何でも子育てに活用できる。
- ・宿題等の関係で放課後の悩みを皆さん持っている事は同じだと思いました。
- ・学校によって色々な取り組み方が違う事が分かった。
- ・すごく身近な戸惑い・疑問からでいいんだな。
- ・自分の考え方を持っている親ばかりで素晴らしい。皆さん意識・興味ともにレベル高い。
- ・参加者の皆さんが何かを得ようという気持ちをお持ちでした。
- ・豊島区って面白いかも。
- ・家庭教育が地域作りと似ているという事。
- ・どこか地域についてお客様のような気持ちでいた事。

★私が一番印象に残った言葉は…

- ・ファシリテーションを家庭に。教育は教えるのではなく子供の気付きを促し、引き出す事。
- ・ファシリテーション・人と人との和を繋ぐ事。
- ・良い地域は良い家庭を作る。
- ・地域単位で子育てを考える。
- ・「やらせる」のではなく促すことで「自発的」になり自信につながる。
- ・まるで自分で気付けたかのように気付く。勉強してないかの様に勉強する。
- ・やらされるではなく、自分でやりたいと思う気持ち。
- ・“楽しみたい”と皆さん積極的だったのが頼もしく思いました。

★私にとって必要だと感じたのは…

- ・もっと子供の話を聞いてコミュニケーションをとりたいと思いました。
- ・子供に考える力をつけさせること。気付かせること。
- ・受けとめ引き出す。
- ・いろいろなお話を聞くことで新しい発見をすること。それに柔軟に対応していく事が必要だなと感じました。
- ・落ち着いてゆっくり話をする事。伝えるためのまとめ方を考える事。
- ・ファシリテーションを家庭に活用するためには子供ともっとかみ合わせ、整理するために話し合わないのだと思いました。
- ・コミュニケーション能力、思った事、考えを分かりやすく説明する力。
- ・気付きの力。色々なものにもっと目を光らせてみる事。

★私がこれから実行しようと思ったことは…

- ・子供への言葉かけを変えてみる。
- ・学んだ事を地域や子供達に還元する事。
- ・子供にもっと会話を振るようにします（学校のことをよく分かってないと感じられたので）
- ・意見を言うだけでなく引き出せる言い方、引き出す言い方。
- ・自分の周りにどんなコミュニティがあるのかをもっと知る。意識を持つ。
- ・今回の家推参加を機に人の輪を広げよう！新しいつながりのご縁を大切にしたい。
- ・もっと街を良くする取り組みに関われるように学び続ける事。
- ・つながりを広げた先にやりたい事を想像する事。

★ご意見・ご感想

- ・とてもためになり、面白かったです。また、もっと学びたいと思いました。
- ・育児に関わる事を今後も学んでいきたいので教えていただきたいです。
- ・他の小学校のお母様達と話せてとても勉強になりました。

